

## 2年算数科学習指導案

1、単元名 かけ算 2 九九をつくろう

2、単元の目標

(1)ねらい

- ・乗法の意味について理解し、それをを用いることができる。

(2)単元の評価規準

関心・意欲・態度

- ・乗法九九のよさに気づき、ものの個数をとらえるときに進んで乗法を用いようとする。
- ・乗法について成り立つ性質を用いて九九を構成しようとする。
- ・九九表をもちいたり、乗法九九を見直したりして乗法について成り立つ性質やきまりを進んで見つけようとする。

数学的な考え方

- ・乗法について成り立つ性質を用いて、乗法九九の構成のしかたについて多様に考ええる。
- ・九九表から、被乗法、乗法、積の関係や交換法則などの乗法について成り立つ性質やきまりをとらえる。

表現・処理

- ・乗法九九(6、7、8、9、1の段)を構成し、確実に唱えることができる。

知識・理解

- ・乗法について成り立つ性質や乗法のきまりを理解することができる。
- ・乗法九九(6、7、8、9、1の段)の構成のしかたを理解する。
- ・整数倍の定義について理解する。

3、知的好奇心を引き出すための指導の工夫

(1)指導の工夫

前単元でがくしゅうした乗法の意味、及び5、2、3、4の段の九九に続いて、本単元では、6、7、8、9、1の段の九九を扱い、これによって九九を完成させる。これまで活用してきたきまり(乗数が1増えると積は被乗数の数だけふえること)とともに、本単元で明らかにするきまり(被乗数と乗数を入れ替えても積は変わらない。及び7の段=5の段+2の段などの分配法則)、アレイ図などの図を活用して児童自ら九九を構成できるようにしている。このような学習展開をすることで、単元に九九を覚える学習ではなく、児童の実態に応じて多様な考え方を引き出す授業をつくり出すことができる。また、九九の習熟には、前単元と同様に、九九カードを使ったり、ゲームを取り入れたりして楽しく学習をさせていきたい。

本時は、今まで学習してきた乗法九九が具体的な場面で活用できることを知り、九九の理解を深めたり、進んで用いようとする態度を育てたりすることがねらいである。具体物や半具体物を使って、操作しながら考えさせることにより興味をもって取り組むと思われる。また、アンケートでかけ算を「難しい」と答えた子どものために、おはじきを操作させたり、九九表やプリントを用意したりして考える手助けにしたい。

(2) 指導計画(19時間扱い)

第1次 6の段、7の段の九九(6時間)

第1時 6の段の九九を構成する。

第2・3時 6の段の九九を記憶し、適用する。

第4時 7の段の九九を構成する。

第5・6時 7の段の九九を記憶し、適用する。

第2次 8の段、9の段、1の段の九九(4時間)

第1時 8の段、9の段の九九を構成する。

第2・3時 8の段、9の段を記憶し、適用する。

第4時 1の段の九九を構成し、かけ算の意味の理解を確実にする。

第3次 ばいとかけ算(2時間)

第1時 「倍」の意味について理解する。

第2時 ある量の何倍かにあたる量を求めるときに、かけ算を用いることを理解する。

第4次 九九の表ときまり(3時間)

第1時 乗数と積の関係について理解する。

第2時 乗数の交換法則について理解する。

第3時 九九の表に親しみ、いろいろなきまりを見つける。

第5次 もんだい(2時間)

第1・2時 乗法九九を総合的に活用して、問題を解決することを通して、九九の理解を深める。(本時)

第6次 まとめ(2時間)

第1時 学習内容を確実に身につける。

第2時 学習内容の理解を確認する。

4、本時について

(1) 本時の目標

ものの数の求め方を、かけ算を活用し、工夫して考えることができる。

(2) 本時展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 評 価
1、問題場面を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">チョコレートの数を求めましょう</div> <p>・チョコレートをグループの人に2個ずつ配ると、いくつ残っているでしょう。</p>	場面について話し合うことにより、数を求めることについての意識を高める。  箱の中に残っているチョコレートの数の求め方について考えさせるようにさせる。
2、箱に残っているチョコレートの数	問題の図をプリントし児童に配布する。

の求め方を工夫して考える。

工夫した求め方を発表して下さい

- ・ 右と左を分けて考えた。  
 $3 \times 3 = 9$     $3 \times 5 = 15$
- ・ 上と下に分けて考えた。  
 $6 \times 3 = 18$     $3 \times 2 = 6$
- ・ 上の3列を向きを変えて、下の2列に合わせて考えた。  
 $6 \times 4 = 24$

3、練習問題を解く。

おはじきの数を工夫してもとめましょう。

- ・ 6個ずつのかたまりで考えた。
- ・ 4個ずつのかたまりで考えた。
- ・ 2個ずつのかたまりで考えた。

5、学習のまとめをする。

多様に考えられるように、問題の図をいくつか記しておく。

ものの数の求め方を、かけ算を活用し、工夫して考えている。(数学的思考方)

工夫されている点について問い、その求め方のよさに気づくようにさせる。

- ・ 1つずつ数えたり、10ずつまとめたりする方法と比べることにより、九九を用いるよさを味わうようにする。

・ まとまりを囲むなどして、「まとまりの数」「いくつつ」をおさえるようにする。

九九を用いると能率的に答えが求められることに着目し、考えている。(数学的思考方)

様々な考えのよさを認めようとしている。

(関心・意欲)

かけ算の式で表せる場面の考え方を振り返り、分け方や移し方などかけ算が使える工夫をするように促す。

九九を用いて答えを求めることができる。

(表現・処理)

ものの数を求めるときには、まとまりの数に目をつけて九九を使えばよいことを理解している。

(知識・理解)

今日の授業の感想を書く。